

インド太平洋構想に基く日印協力研究会

- テ ー マ
1. 目的：
「自由で開かれたインド太平洋構想における日印協力」
～経済及び安保から見た総合的協力分野の考察並びに提
言～
 2. 問題意識：
 - 1) 背景：
中国の急速な台頭と、米国の相対的影響力の低下に
より、インド太平洋地域が益々不安定化することが
危惧される中で、日印協力が益々重要になる。
 - 2) 中国に対する日印共通の利害：
 - ①経済的重要性： 最大の貿易相手国であると共に
競争相手国である。
 - ②政治的/軍事的警戒： 領土、領海、領空、に関し
火種を抱えると共に、中国の国際的影響力の増大
が懸念される。かかる状況下、日印協力を強化す
ると共に、ASEANとの連携を深め、中国の「一帯
一路」との共存、並びにコラボレーションを図る
ことが肝要である。
 - 3) 「日印特別戦略的グローバル・パートナーシップ」：
日印間ではパートナーシップの重要性が強調されて
いるものの、その具体化、並びに、加速化が喫緊の
課題である。
日印が協力関係を強化すべき具体的な分野、及び内
容を考察し提言する。

期 間 2020年4月1日～2023年3月31日

開催年月日

- ① 2020年7月12日
- ② 2020年9月27日
- ③ 2020年11月22日
- ④ 2021年1月31日
- ⑤ 2021年2月28日
- ⑥ 2021年3月28日
- ⑦ 2021年4月25日
- ⑧ 2021年5月30日
- ⑨ 2021年6月13日
- ⑩ 2021年7月18日
- ⑪ 2021年8月29日
- ⑫ 2021年9月19日
- ⑬ 2021年10月24日
- ⑭ 2021年11月21日
- ⑮ 2021年12月5日
- ⑯ 2022年1月16日
- ⑰ 2022年2月20日
- ⑱ 2022年3月11日

メンバー

四方 立夫 (主査)

一般財団法人鹿島平和研究所 客員研究員

三井物産株式会社 社友

平泉 信之

一般財団法人鹿島平和研究所 会長

鹿島建設株式会社 取締役

株式会社アバンアソシエイツ 顧問

公益社団法人会社役員育成機構 理事

坂本 正弘

一般財団法人鹿島平和研究所 評議員

元 中央大学総合政策学部 教授

公益財団法人日本国際フォーラム 評議員・上席研究員

元 経済企画庁 経済企画審議官

佐野 秀太郎

日本大学 教授

伊藤 融

防衛大学校 教授

新谷 大輔

株式会社三井物産戦略研究所国際情報部 室長

福味 敦

兵庫県立大学 教授

Dr. Jagannath P. Panda

Head, Stockholm Centre for South Asian and Indo-Pacific Affairs

Dr. Hina Pandey

Associate Fellow, Center for Air Power Studies

メンバー

Prof. Dattesh Parulekar

Associate Professor, Goa University

Prof. Shamshad A. Khan

Assistant Professor, Birla Institute of Technology & Science

Dr. Naresh Chandra Sahu

Assistant Professor, Indian Institute of Technology, Bhubaneswar

Mahima N. Duggal

Associated Research Fellow, Institute for Security and
Development Policy (ISDP, Sweden)

Mrittika Guha Sarkar

Assistant to Dr. Panda